

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和 6年 3月 21日

事業所名： がんばりっこ青木

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守したスペースを確保している。宿題・活動をカーテンで別けている。	わからないと言う意見もあった、見学などでは広いと言われることが多い。	宿題スペースと生活スペースを別けるようにしている。コロナが5類になってもおやつを間隔をあけて食べたりしている。
	2 職員の適切な配置	法令にさだめられている配置に加え常に児童指導員または保育士を2名以上配置している。	契約時に2対1くらいでは配置出来ていると説明していたため、出来ていると言う意見も多かった。	この配置は崩さないようにして2対1くらいを徹底出来るようにしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーではないが情報伝達等に配慮した環境は絵カード等は用いて支援している。	どちらともいえないと言う意見もあった。	個別の支援だけでなく、事業所の支援方法の伝えて行けるようにする。事業所内は段差などはないが手すりはトイレにはある。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の中で衛生管理チェック表を使用している。おもちゃの消毒は週1ではしている。	わからないと言う声もあった。	環境作りは意識している、活動の雰囲気をもっと公表で出来るように工夫します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	毎日始業前にミーティングをしている。毎月支援会議をして議題の提出を命じて行っている。		職員の月会議をしていて支援会議前に系列店舗での統一発展を工夫している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は利用者・社内での評価・改善しか出来ていない。		事業所連絡会等で意見交換、ヒヤリハットの共有等で第三者に意見を聞く事はしている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画で全職員対象で研修に参加してもらっている。今年は内部研修のクオリティを高めるように職員で意見を出している。		オンラインの研修をスタッフみんなを受けて意見交換をする仕組みを取り組み始めた。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画期間毎にモニタリング・アセスメントを取り放課後等デイサービス個別支援計画を作成している。	わからないという意見も見られた。	保護者の面談事業所内での面談も再開し始めた。今年度は面談の事業所内を100%にするように検討している。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	計画期間毎にモニタリング・アセスメントを取り放課後等デイサービス個別支援計画を作成している。		

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	されている言う評価が多かった。	年間計画、月間計画にも引き続き全支援員で立案する。イベントの活動後の反省をして年間計画もマンネリしないようにする。
適切な支援の提供（続き）	5	チーム全体での活動プログラムの立案		今後もチームでプログラムの立案をしていく。いろんなスタッフに日直や当番で前に出る機会を持ってもらいプログラムの活性化を図っている。長期休暇にしかできない事を固定化されないように努めている。社内ミーティングも増やしている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	いろいろな活動やイベントがあり楽しんでいると言う評価もいただいた。	固定化しないようにいろんな角度からプログラムの活性化を図る。反省や意見を毎回出してもらう。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		支援が偏らないように、支援の方法の確認、環境の設定をいろんな職員が出来るようにミーティングで確認する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底		ヒヤリハットの気付きの充実事故に繋がらないように意識する。事業所連絡会での共有でいろんな角度から意見も求める。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		
		計画期間毎にモニタリング・アセスメントを取り、支援会議にも議題としてあげ、放課後等デイサービス個別支援計画を作成している。		
		事業所として年間計画 月間計画予定表を作成して、個人として個別支援計画を作成している。		
		年間計画時に常勤職員だけでなく非常勤職員にも立案に参加してもらい固定化しないように取組んでいる。実際に非常勤主体の活動もある。		
		平日に出来ない活動を 祝日・長期休暇前に立案して取組んでいる。少しずつ外の活動も増やせてきている。		
		年間計画時に常勤職員だけでなく非常勤職員にも立案に参加してもらい固定化しないように取組んでいる。毎月の予定も季節に合わせて変えている。		
		始業前にミーティングをして各自日番や当番を決めたりしている。終業時に全員での打ち合わせが難しいが申し送りノートや業務日誌にてその日のうちに記録に残すようにしている。防犯カメラ等でのその日の出来事の振り返りも出来るようにしている。ヒヤリハット報告や終業時の相談打合せも実施する日が増えてきている。事業所連絡会等で外部にも公表している。		

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケースファイルとは別に一人一人のノートを作成して支援の共有に努めている。少しずつノートも定着している。		今後も支援会議やミーティングを通して日々の支援の改善をしていく。 問題点だけでなく良かった点を伝えるようにしていい点を増やしていく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	計画期間毎にモニタリング・アセスメントを取り放課後等デイサービス個別支援計画を作成している。特記事項があれば速やかに変更もする。モニタリングを全スタッフに記載してもらっている。		全スタッフにモニタリング用紙を配布して記載してもらっている事を継続する。個別案を伝えた事で案を確認する猶予を持てるように時期を早めにする。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	セルフプランの対象者の関係機関を交えてのサービス担当者会議はケースに応じて行うことも増えて。関係機関、他の事業所の管理者との共有の時間を持つようにしている。		相談支援との連携が以前より増えている。訪問支援を社内ですぐ始めたためその機会も増えているので今後も連携を深めていく。
	2 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	てんかんのある利用者に関しては通院している医療機関の連絡先は確認している。		てんかんの変化が無いかも計画作成時期にも確認する事の徹底。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所や未就学児の移行時の情報共有は未だなされていない。法人内で保育所等訪問支援を始めた事で少しずつ連携する機会が増えてきている。		新一年生の受入時など連携が取れるように努めていく。訪問支援なども活用していく。今年は保育所にも一度訪問したので今後も機械を増やしてい行く。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			実際に行ったこともあるが今後さらに連携を取れるように努めていく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	地域の支援センターとは連携を取れるようにしている。保育所等訪問支援を活用して学校とも以前より連携取りやすくなってきた。まだまだ学校数は少ないが、少しずつ意識してくれる学校が増えている。		今後も支援センター等だけでなく相談支援事業所ともとの連携をとるように努めていく。学校にも依頼していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会	今年も地域の行事にも参加出来ていない。他事業所との交流も出来ていない。	交流していないと思うという評価が半数以上	今年は事業所連絡会のイベントを再開する予定そこで交流も増えるのではないかと思う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に向けた招待は出来ていない。	わからないという評価が多かった。	
保護者への説明	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	運営規定、利用者負担、当事業所の活動内容等は体験・見学时、契約時に説明して理解いただいて契約している。	されているという評価が多かった。契約の時だけでその後の変更した点は電話や手紙だけで丁寧にする時間が物理的に難しく、どちらともいえないという意見があった。	面談を100%にする事でゆっくり丁寧に出来るようにする。今年は法改正もあるのでゆっくり時間が取れるようにしたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		されているという評価が多かった。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは行えていなが、一般のペアレント・トレーニングの研修にも今年度はなかなか参加出来なかった。	わからないという評価が多かった。	知識を得て取り組むように努める。茶話会でOB会をするのでそこで支援についてのトレーニングを取り入れて行く。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳のやり取りをして、送迎時にもその日の出来事のやり取りを徹底している。	されているという評価が多かった。	連絡帳だけでなく送迎や電話でしっかり伝えていく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
責・ 連携 支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳・送迎時や、モニタリング時に今後の支援と保護者の思いの話が出来るようにしている。	されている言う評価が多かった。	面談をしっかりと保護者に寄り添えるように努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	毎年一回事業所主催の保護者会を行い。地域の社会福祉協議会に加盟して保護者の集いの催しに携わり参加を促している。保護者の集いで数名お会い出来た。	知らなかった保護者がいた。	案内は出しているがもっと声かけ誘いかけをしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	相談対応者を伝え、相談があった際に相談記録に残し周知している。	されていないと言う評価も見られた。	保護者の相談出来る環境、迅速に対応できる環境設定に努めていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童にコミュニケーションツールとしてカラーワークやタッチケアも取り入れて、利用者の意思の疎通のツールに出来るように取組んでいる。	わからないと言う評価が多かった	活動の公表をしていて、今後も配慮して努めていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	大切なお知らせとして様々な事は発信している。	様々な活動を見たい。わからないが多かった。	今年度開設されたがあまり活用できていない。今後取り入れていく。SNSも検討中。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報には外には出さないように徹底。他事業所の連携時も共有する旨を伝え、他者には伝わらないように場所や時間を考えて共有している。	されていると評価が多かった。	個人情報取り扱いマニュアルの周知の徹底に努めていく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作り年に一回全員で研修をするように徹底している。	知らなかった保護者がいた。	職員だけでなく保護者にも周知を徹底する。広報の仕方もSNS等でしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回、（地震・津波）と（火災）の避難訓練を実施している。	知らなかった保護者がいた。	予定表にも明記されているも当日利用していない利用者の保護者にも周知していくようにする。振り返りの広報もしていく。SNSの活用を検討中

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年間計画で年に一回外部研修に行く職員を決めてその職員から全体に研修してもらい周知して行っている。今年は地域の協議会主催の研修もあった。		毎年全員が行く研修を今後も続けていく。毎年研修に行く支援員を変えてた支援員に降ろしてもらおう。地域主催の勉強会も参加している。今後も参加したい。オンラインに参加してみんなで見れるように設定する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明してもらい同意いただいている。		個別支援計画にも反映して説明を計画時期にする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に確認しているが支持書などは頂いていない。薬手帳の書類の提出に協力してもらっている。		指示書などがある方には協力してもらおう。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を記載してもらい、ミーティング・支援会議で共有している。今年も何度も書いてもらった、地域の事業所連絡会でも共有している。		ミーティングで出た内容を事例として事業所内事業所外でヒヤリハットに反映して事故の無いように努めていく。今後も些細な事から書いてもらう。